

水戸市高齢者クラブ連合会における「100万人会員増強運動」の取り組み

高齢者クラブでは、住み慣れた地域で「健康で生きがいのある暮らし」を求め、会員がお互いに支え合いながら、さまざまな活動を展開している。しかし近年、①高齢者のニーズの多様化 ②会員の高齢化 ③地域における連帯感や帰属意識の希薄化が主な原因で、全国的に高齢者クラブ数・会員数が減少傾向にあり、歯止めがかからない事態に直面している。

こうした現状を打開するため、全国668万のクラブ員が一斉にスクラムを組んで、成功事例に学びながら「100万人会員増強運動」(5か年計画)を展開することとなった。

市高連では、新たな活動も検討しつつ、地域支え合い活動を積極的に推進し、地域諸団体と連携・協力を図りながら、リーダーの育成、未設置地域でのクラブの新設、会員の増強を図ることとし、この活動の中核を担い、統括・推進するための委員会を設置する。

(1)委員会の名称

地域づくり推進委員会『メインテーマ =未来につなぐ絆= 』

(2)平成26年度事業計画 重点項目

- ①団塊の世代を取り込んだ加入促進によるクラブの活性化と「老人クラブ100万人会員増強運動」の推進
- ②自治会・町内会と連携し、未設置地域におけるクラブづくりの推進
- ③友愛・奉仕の精神で「地域支え合い活動(見守り・声かけ運動)」の推進
- ④他団体との連携による地域福祉活動と社会貢献による地域づくり活動の推進
- ⑤高齢者クラブPR活動の強化
- ⑥健康維持・向上に努め、健康長寿を伸ばす「健康づくり・介護予防活動」の推進
- ⑦高齢期の充実をもたらす生きがい活動の推進
 - ・趣味、教養活動、親睦、旅行、レクリエーション、スポーツイベント

(3)当面の取り組みと目標

- ①市高連直属のサークルを発足させる
 - ・主に団塊の世代の加入促進のため新たな事業を計画する
 - ・市高連の役員および各委員会が世話役となり、直轄の趣味サークルを発足させる
例えば、パソコンクラブ、ゴルフクラブ、歩く会、文化クラブ(絵画、写真、野草その他)
- ②クラブの解散・休会を防ぐ
 - ・自己点検表の作成と実施および点検結果の評価作業、具体的なマニュアルの作成
 - ・単位クラブとの継続的な懇談会および相談窓口の設置
 - ・地区高連など地域関連団体(行政、市民センター、市社会福祉協議会、自治会、民生委員)との協議

③新規クラブの発足

- ・地区高連ごとに単位クラブのない地区を洗い出す
- ・休眠、解散クラブの現状確認と復活促進
- ・高齢者クラブの空白地区を無くし、1町内に1クラブを目指す

④サロン活動の強化・拡大

- ・地区高連に少なくとも1サロンを設置する(地域に住む一般高齢者も含めたサロンの開催)
- ・サロン開催の手引きの作成

⑤無理のない範囲で1クラブ1友愛チームを結成

- ・当面、ひとり暮らし会員を対象にした見守り・訪問活動(順次対象を会員以外にも拡大)
- ・地域の在宅高齢者とその家族の支援
- ・友愛チーム結成の活動の手引き作成

(4)委員会の所掌事項

- ①会員増強に関すること
- ②単位クラブの実態把握、新設等に関する調査、研究に関すること
- ③サロンや友愛(見守り・訪問活動)チームの設置に関すること
- ④地域の諸団体との連携・推進、協議等に関すること

(5)委員の構成(10~12人程度)(当面は市高連会員で組織する)

- ①理事
- ②単位クラブ会長および会員
- ③75歳未満の単位クラブ会長および会員
- ④女性単位クラブ会長および女性委員